

9月の農作物病虫害発生現況

(令和8年9月 15 日現在) 山口県病虫害防除所

1 巡回調査期間:9月9日～11 日

2 1か月気象予報(9月 10 日福岡管区気象台発表)

気温:低い 10%、平年並 30%、高い 60%

降水量:少ない 30%、平年並 40%、多い 30%

日照時間:少ない 30%、平年並 40%、多い 30%

3 発生現況

【イネ】

○いもち病(穂いもち)

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 16.7%(平年 23.3%)、発病株率 2.8%(平年 5.9%)、発病穂率 0.2%(平年 1.1%)、被害度 0.1 (平年 0.8)

今後の予想:平年並

予想の根拠:ほ場調査(±)、気温は高い、降水量はほぼ平年並 (±)

○紋枯病

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 20.7%(平年 28.6%)、発病株率 3.7%(平年 6.3%)、発病度 1.7(平年 2.6)

今後の予想:平年並

予想の根拠:ほ場調査(±)、気温は高い、降水量はほぼ平年並 (±)

○ごま葉枯病

発生現況:多

ほ場調査:多 発生ほ場率 69.0%(平年 44.0%)、発病株率 44.1%(平年 24.4%)、発病度 12.4(平年 6.4)

○白葉枯病

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 0%(平年 0.1%)、発病株率 0%(平年 0.0%)、発病度 0(平年 0.0)

○縞葉枯病

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 0%(平年 0.1%)、発病株率 0%(平年 0.0%)

○もみ枯細菌病

発生現況:やや多

ほ場調査:やや多 発生ほ場率 14.8%(平年 7.4%)、発病株率 2.4%(平年 1.0%)、発病穂率 0.1%(平年 0.1%)

○稻こうじ病

発生現況:少

ほ場調査:少 発生ほ場率 0%(平年 6.5%)、発病株率 0%(平年 1.0%)

○トビイロウンカ

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 5.3%(平年 22.6%)、10 株当たり虫数 0.1 頭(平年 15.7 頭)、10 株当たり短翅型成虫数 0.0 頭(平年 0.9 頭)

今後の予想: 平年並

予想の根拠: ほ場調査(±)、気温は高い(+)

備考: 10月以降に収穫するほ場でトビイロウンカが発生が多い場合は、追加防除を実施する。防除ができない場合は、早めに収穫する。

令和8年8月4日付け令和8年度農作物病虫害発生予察技術資料第4号参照

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22318.html>

○コブノメイガ

発生現況: 平年並

ほ場調査: 平年並 発生ほ場率 70.2% (平年 39.5%)、被害葉率 2.3% (平年 1.5%)

○斑点米カメムシ類

発生現況: 平年並

ほ場調査: やや少 発生ほ場率 44.4% (平年 49.7%)、20回すくい取り虫数 1.0頭 (平年 2.0頭)、
主要種はイネカメムシ、ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ

8月6日～9月5日の予察灯(県内3か所)の誘殺数: やや多 3,449頭 (平年 1,894頭)

今後の予想: 平年並

予想の根拠: ほ場調査(-)、予察灯誘殺数(+)、気温は高い(+)

備考: カメムシ類の発生が多い場合は、追加防除を実施する。なお、防除に当たっては使用時期等(農薬使用基準)を遵守する。

【ダイズ】

○ハスモンヨトウ

発生現況: やや多

ほ場調査: やや多 白変葉発生ほ場率 61.9% (平年 46.9%)、1a当たり白変か所数 2.2か所 (平年 1.0か所)、㎡当たり虫数 1.0頭 (平年 1.6頭)

フェロモントラップ誘殺数(県内5か所: 8月6日～9月5日): 平年並 8,276頭 (平年 7,917頭)

今後の予想: やや多

予想の根拠: ほ場調査(+)、フェロモントラップ誘殺数(±)、気温は高い、降水量はほぼ平年並(+)

備考: 防除の目安は、白変葉の発生が1a当たり5か所以上。

ほ場をよく観察し、防除適期(若齢幼虫最盛期)に薬剤防除を実施する。

○吸実性カメムシ類(アオクサカメムシ、ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ)

発生現況: やや少

ほ場調査: やや少 発生ほ場率 66.7% (平年 67.1%)、㎡当たり虫数 0.4頭 (平年 0.7頭)

8月6日～9月5日の予察灯(県内3か所)の誘殺数: やや多 121頭 (平年 54頭)

今後の予想: 平年並

予想の根拠: ほ場調査(-)、予察灯誘殺数(+)、気温は高い、降水量はほぼ平年並(+)

備考: 子実肥大期(開花期後45～50日)の防除を実施する。

防除の際はダイズの莢に薬剤が十分かかるよう散布する。

8月まで低密度でも、9月以降密度が急増することが多いため、ほ場での発生状況を確認する。

○ウワバ類等のチョウ目

発生現況: 少

ほ場調査: 少 発生ほ場率 47.6% (平年 76.7%)、㎡当たり虫数 0.4頭 (平年 1.4頭)

今後の予想:少

予想の根拠:ほ場調査(－)、気温は高い、降水量はほぼ平年並(+)

備考:発生が多い場合は防除を実施する。

○フタスジヒメハムシ

発生現況:少

ほ場調査:少 発生ほ場率 52.4%(平年 77.1%)、m²当たり虫数 4.7 頭(平年 9.9 頭)

【ナシ】

○ナシヒメシンクイ

発生現況:やや少

フェロモントラップ誘殺数(萩市:8月11日～9月10日):やや少 43 頭(平年 63 頭)

誘殺グラフ:ナシヒメシンクイ(フェロモントラップ:萩市)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/249301.pdf>

今後の予想:やや少

予想の根拠:フェロモントラップ誘殺数(－)、気温は高い(+)

備考:発生が多い園地では、収穫期であっても収穫前日数に留意して防除を行う。

【果樹全般】

○カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)

発生現況:多

予察灯誘殺数(県内4か所:8月6日～9月5日):多 1,455 頭(平年 556 頭)

今後の予想:多

誘殺グラフ:果樹カメムシ類(予察灯:県内4か所)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/249985.pdf>

予想の根拠:予察灯誘殺数(+)、気温は高い(+)

備考:カンキツ類、カキ、リンゴ、晩生ナシ等で飛来を確認したら防除を徹底する。

令和8年8月18日付け令和8年度農作物病害虫発生予察技術資料第5号参照

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22318.html>

【野菜全般】

○ハスモンヨトウ

発生現況:平年並

フェロモントラップ誘殺数(県内5か所:8月6日～9月5日):平年並 8,276 頭(平年 7,917 頭)

誘殺グラフ:ハスモンヨトウ(フェロモントラップ:県内5か所)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/248942.pdf>

今後の予想:平年並

予想の根拠:フェロモントラップ誘殺数(±)、気温は高い、降水量はほぼ平年並(+)

令和8年8月18日付け令和8年度農作物病害虫発生予察技術資料第6号参照

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22318.html>

○コガネムシ類(ドウガネブイブイ、アオドウガネ、コガネムシ、ヒメコガネ)

発生現況:やや多

予察灯誘殺数(県内3か所:8月6日～9月5日):やや多 212 頭(平年 162 頭)

誘殺グラフ:コガネムシ類(予察灯:県内3か所)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/249062.pdf>